

平成 25 年度 南信州地域交通問題協議会 総会 議事録

概 要

日 時：平成 26 年 3 月 5 日（水） 10:30～12:00

会 場：県飯田合同庁舎 3 階講堂

出席者：P 3 のとおり

< 協議事項 >

第 2 次南信州地域公共交通総合連携計画（案）について

- ・協議事項について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・議案の通り、承認された。

< 報告事項 >

(1) 平成 25 年度上半期運行実績について（平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日）

- ・報告事項(1)について、南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。

(2) 平成 25 年度事業進捗状況について

- ・南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・内容に関する質疑応答は特になかった。

(3) 平成 25 年度決算見込みについて

- ・南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。

※質疑応答は以下のとおり

（阿智村 熊谷村長）

今後の意見として申し上げる。先日の阿智村地域公共交通協議会でも話題となったが、高校生の利用は非常に伸びているが、一般の方の利用が減っている状況であると聞いている。公共交通への利用促進の広報に加え、市町村の運行する路線・運賃の変更情報やPRしたい情報などを他市町村へ配布し、各市町村で催している高齢者の会合などを利用し住民に周知していくことを検討願いたい。

また、阿智村地域公共交通協議会では来年度から満蒙開拓平和記念館を廻るルートを設定した。将来的に観光施設を廻るルートを検討していくことで利用促進に有効ではないか。

（天龍村 大平村長）

来年度より、常々要望していた天龍村営バスに運行補助をいただけるようになり関係機関に誠に感謝しております。今後も数ある支線にも配慮いただくようお願いしたい。

（長野運輸支局 中牧首席運輸企画専門官）

従来から独自で運行しているコミュニティバスに関しては、運行経費の補助を受けることがで

きなかったが、今年度設立した地域協働推進事業を活用し路線の利用促進を図ることで、フィーダー（支線）系統に関する要件の緩和が受けられるようになっている。是非このような制度を利用し利用促進につなげていただきたい。

<その他>

運転免許自主返納者に対する支援について

- ・ 南信州地域交通問題協議会事務局仲田より説明。
- ・ 各市町村の公共交通担当者より説明。
- ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。

<情報提供・意見>

（長野運輸支局 中牧首席運輸企画専門官）

- ・ 交通政策基本法の策定について説明。

（長野県企画部交通政策課 竹内主事）

- ・ 今年度長野県が設立した地域交通システム再構築促進モデル事業について説明。

（名古屋大学大学院 都市環境学 杉浦講師）

・ 誰にもやさしい公共交通をめざし協力していく。また今後は楽しいことができる公共交通を提案していく。

以上